平成 22 年度

名古屋大学大学院情報科学研究科

博士課程（後期課程）

計 算 機 数 理 科 学 専 攻
情 報 シ ス テ ム 学 専 攻
メ デ ィ ア 科 学 専 攻
複 雑 系 科 学 専 攻
社会システム情報学専攻

10 月入学学生募集要項

名古屋大学
大学院情報科学研究科

平成 22 年度　名古屋大学大学院情報科学研究科
博士課程（後期課程）10 月入学学生募集要項

平成 22 年 10 月に，本研究科博士課程の後期課程に入学又は進学を志願する学生を下記により募集する。

1．出　願　資　格

次の各号のいずれかに該当する者

(1)修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成 22 年 9 月 30 日までに取得見込みの者

(2)外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

(3)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 22 年 9 月 30 日までに修了見込みの者

(4)我が国において,外国に大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与されたもの

(5)文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）（注）

(6)本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，平成 22 年 9 月 30 日までに 24 歳に達する者（注）

（注）前項（5）（6）に該当する資格で出願しようとする者は，予め平成 22 年 6 月 9 日（水）までに本研究科に照会すること。

2．募　集　人　員

計算機数理科学専攻	若干名
情報システム学専攻	若干名
メディア科学専攻	若干名
複雑系科学専攻	若干名
社会システム情報学専攻	若干名

3．願 書 受 付 期 間

平成 22 年 7 月 7 日（水）から平成 22 年 7 月 13 日（火）（土曜日・日曜日・祝日を除く）
受付時間は，9 時から 16 時まで。（12 時から 13 時は除く）

4. 出　願　書　類

全員が提出する書類

(1)入学志願票（本研究科所定の用紙に記入したもの）

(2)受験票，写真票（本研究科所定の用紙に記入したもの）

(3)志願理由書（本研究科所定の用紙に記入したもの）

(4)履歴書（本研究科所定の用紙に記入したもの）

(5)領収証書，領収証書（控）（本研究科所定の用紙に，氏名のみ記入のこと）

(6)返信用封筒 2 通（受験票送付用，連絡用）

本研究科所定の返信用封筒 2 通に出願者本人の受信場所・郵便番号・氏名を明記して，提出すること。なお，受験票送付用封筒には 350 円切手を貼付すること。（ただし，海外の場合は必要な料金）

(7)宛名シール（本研究科所定の用紙に記入したもの）

(8)修士学位取得（見込）証明書又は修士修了（見込）証明書

(9)成績証明書（最終出身大学院作成のもの）

(10)入学検定料（30,000 円，郵便局発行の郵便普通為替[指定受取人住所・氏名欄は記入しないこと]で納付すること）ただし，本学大学院博士課程（前期課程）を修了し，引き続き本研究科博士課程（後期課程）へ進学する者は，入学検定料及び（5）領収証書等は不要。

（ただし，海外在住で郵便普通為替の入手が困難な場合は，問い合わせること）

(11)修士学位論文 1 部（写も可）及び論文要旨 1 部（修士学位論文を提出しないで修了した者はそれに代わる研究論文等）ただし，平成 22 年 9 月 30 日までに修士学位取得見込の者は，修士学位論文は不要であり，論文要旨 1 部のみを提出するだけでよい。

論文要旨については，本研究科所定の用紙に記入するか所定の様式全てをワープロ等で作成してもよい。必要に応じて用紙を追加してもよい。

参考資料として提出することが望ましい書類

(1)修士論文以外に本人の研究能力を示す資料がある場合は，それらを 1 部（コピーでよい）及び必要に応じてその概要を 1 部

(2)外国人留学生で日本語能力試験を受験したことがある者は，合格証又は成績通知書。複写したものを提出する場合は，「これは原本に相違ありません」と記入し，署名，押印すること。

(3)英語検定試験（英検・TOEIC・TOEFL など）の資格をもつ者は，合格証又は成績通知書のコピー。複写したものを提出する場合は，「これは原本に相違ありません」と記入し，署名，押印すること。合格証または成績通知書の有効期限は，平成 19 年 4 月 1 日以降受験分とする。

該当者のみ提出する書類

(1)外国人の志願者は，市区町村長の発行する外国人登録原票記載事項証明書を提出すること。

ただし，日本国永住許可を得ている者は，提出を要しない。

また，現在海外に在住している者は，国籍及び在留資格を確認できるもの（例えばパスポートの国籍と在留資格が記載されている頁のコピー）を提出すること。

(2)官公庁，会社，団体等に在職中で入学後も引き続き在職する者は，受験承認書を提出すること（様

式は随意)。

5. 出　願　手　続

志願者は，出願書類を取りそろえ，本研究科所定の願書送付用封筒に入れ，情報科学研究科教務学生掛に提出または郵送すること。

注意事項

(1)出願書類を提出する場合は，なるべく本人が持参すること。

(2)出願書類を郵送する場合は，書留郵便とし，平成 22 年 7 月 13 日（火）16 時までに必ず到着するよう情報科学研究科教務学生掛あて送付すること。

(3)受験票は，郵送で本人に交付する。(試験 2 日前までに到着しない場合は，情報科学研究科教務学生掛に確認してください。)

(4)出願書類に不備のある場合は，受け付けないので留意すること。

(5)出願手続き後は，書類の変更は受け付けない。また，入学検定料の返還も行わない。

6. 選　抜　方　法

(1)入学・進学者の選抜は，口述試験の成績並びにその他提出された書類による総合評価で行う。

(2)口述試験は，次の日程により行う。ただし，出願者に特段の事情がある場合は，該当者のみ別の日に行うので，出願時に情報科学研究科教務学生掛に連絡すること。

(3)口述試験の試験場は，当日情報科学研究科棟（名古屋大学東山地区配置図参照）1 階玄関に掲示する。

(4)集合場所は，情報科学研究科棟（名古屋大学東山地区配置図参照）1 階玄関。

口述試験

修士学位論文又はそれに代わる研究論文及び博士後期課程における研究計画についての発表（あわせて 20 分程度）と発表についての質疑応答及び専門分野についての試問を行う。

専攻名	試験日	試験時間
計算機数理科学専攻	8 月 10 日（火）	9：30～
情報システム学専攻	8 月 10 日（火）	9：30～
メディア科学専攻	8 月 10 日（火）	9：30～
複雑系科学専攻	8 月 10 日（火）	9：30～
社会システム情報学専攻	8 月 10 日（火）	9：30～

注：発表の際には，ＰＣプロジェクターを利用することができる。ただし，ＰＣプロジェクターに接続するＰＣは各自持参すること。

7. 合　格　発　表

平成 22 年 8 月 12 日（木）17 時　情報科学研究科棟玄関に掲示する。なお，郵送により合否を本人宛通知する。

8. 入　学　手　続

入学手続については，平成22年9月上旬本人に通知する。手続日は，平成22年9月下旬の予定である。

9. 入学料及び授業料

(1)入学料　282,000円
(2) 授業料　前期分　267,900円（年額535,800円）
(注1)入学料は入学手続き時に納入する。授業料は，前期及び後期に分けて，前期にあっては4月，後期にあっては10月に納入する。ただし，入学初年度における前期授業料は，5月に納入する。
(注2)入学時及び在学中に学生納付金額の改定が行われた場合には，改正時から新たな納付金額が適用される。

10. そ　の　他

(1)出願資格，出願書類及び選抜方法等本研究科入学試験に関して不明な点は，あらかじめ問い合わせること。
(2)志願者は，出願に際して志望グループ・志望教員を決めるにあたり，希望する教員に事前に直接連絡をとること。
(3)教員の研究内容等については，下記のウェブページを参照すること。
(4)名古屋大学においては，構内への車両の入構規制を実施しているので，受験の際は，公共交通機関を利用すること。
(5)住所・氏名・生年月日その他の個人情報は，入学選抜，合格発表，入学手続き及びこれらに付随する事項にのみ利用する。また取得した個人情報は適切に管理し，利用目的以外には利用しない。

※不測の事態が発生した場合の諸連絡
災害や感染症の流行等により，試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は，ホームページ http：//www.is.nagoya-u.ac.jp/により周知するので，出願前や受験前は特に注意すること。

〒464-8601　名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院情報科学研究科教務学生掛
TEL 052-789-4721・4722・4823
http://www.is.nagoya-u.ac.jp/
E-mail: admission@is.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学大学院情報科学研究科

● 研究科の基本理念

情報社会の発展にともない，「情報」は今や物質やエネルギーと並んで人間社会を構成する重要な要素となっています。 名古屋大学大学院情報科学研究科では，工学，自然科学，計算機科学，人文科学，社会科学，認知科学，生命科学など様々な視点から「情報」を捉え，「情報」を学問として体系づけるとともに，領域の融合による新分野の創出を目指しています。 本研究科では，情報科学の理論及び応用の両面からの教育・研究を通して，その深奥を究め，高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い，文化の進展に寄与するとともに，情報科学の研究者，高度の専門技術者及び教授者を養成することを教育目的としています。また，本研究科では，情報科学の先端的研究遂行能力だけではなく，社会や文化の特性を理解し，社会的倫理観をも備えた人材を育成することを基本方針とし，様々な新しい試みを取り入れて総合的な教育・研究活動を行っています。

● 研究科の教育

情報に関する学問は,今後様々な学問領域と関わりを持ちながら発展していくと考えられます。そのため，本研究科は多様な学部・分野からの学生を受け入れ，情報科学の基礎から応用までをカバーする統合的で質の高い専門教育を目指し，以下のような教育を実践しています。

1. 情報に関わる幅広い知識を体系化した教育
2. 諸科学における情報現象の解明に必要な視点を身につけるための教育
3. 技術倫理，情報倫理等，社会的規範の重要性に配慮した教育
4. 社会の要請を理解・分析できる力を身につけるための教育
5. コミュニケーション能力と表現能力を醸成するための教育
6. 実際の情報システムを運用できる実践的な力を身につけるための教育

このように，本研究科では，情報科学の先端的研究遂行能力だけではなく，社会や文化の特性を理解し，社会的倫理観をも備えた人材を育成するような教育を推進しています。

● アドミッションポリシー

情報科学の持つ学術及び社会への影響力を理解し，その理論・技術基盤を探究し，実践的活用を目指す意欲と基礎学力のある学生を受け入れる。

● 学　　位

本研究科の博士課程（後期課程）において，所定の修了要件を満たした者に対しては，博士（情報科学）

の学位が授与される。ただし，とくに理由を認める場合には，博士（工学）または博士（学術）の学位が授与されることがある。

●　専攻の概要

本研究科は，計算機数理科学専攻，情報システム学専攻，メディア科学専攻，複雑系科学専攻，社会システム情報学専攻の 5 つの専攻により構成される。各専攻の教員の氏名，連絡先については http://www.is.nagoya-u.ac.jp/を参照のこと。

1）計算機数理科学専攻

計算機数理科学専攻では，情報科学の基礎を支える計算機科学および数理情報科学の教育・研究を行う。具体的には，数理論理学，離散数学，確率解析，数値解析，計算量理論，符号理論，暗号理論，アルゴリズム論，計算モデル論，プログラム意味論，量子情報，量子計算，最適化などを対象としている。

本専攻の研究面での目標は，情報に関連する数理モデルの構築と解析を中心として情報科学を深く豊かに発展させることであり，教育面での目標は，計算機科学や数理情報科学に必要な知識および思考力を身につけ，情報科学の発展と応用に中心的役割を果たせる高度情報技術者・研究者を養成することである。

2）情報システム学専攻

本専攻では，情報技術を利用して社会における利便性，安全性，快適性を向上させる様々な目的にそった情報システムを構築するための最適なハードウェア及びソフトウェアの構成を決定し，それらの設計，開発を目指す情報システム学の教育研究を行う。また，半導体集積回路技術や情報通信技術の目覚ましい発展に対応して，情報システム学の新しい展開を目指す。

半導体集積回路技術の発展により，家電製品や自動車など様々な機器に組み込まれた小型の情報システムが集積システムとして実現されている。また，情報処理機器がネットワークに接続された大規模な情報システムをモバイル環境で利用することに伴い，情報システムを構築するソフトウェアは益々大規模化，複雑化している。このような背景を踏まえ，次世代情報システムの設計と構築に適用できる原理と技術の教育研究を行うことにより，実際の情報システムの設計，構築において指導的な役割を担える高度情報技術者及び情報システム学の発展を担える研究者を育成する。

3）メディア科学専攻

人間の活動は，産業，経済，社会，教育，芸術，医療・福祉，家庭など多岐にわたり，これらの諸相における迅速かつ正確な情報の抽出と表現とに支えられている。

本専攻は，基礎科学，工学，認知科学を基幹として，メディア科学の基礎理論と，その応用による知的システムの創造，及び人間の認知機能の解明を通して，情報化社会の発展に貢献し得る研究者と技術者を養成する。

4）複雑系科学専攻

自然，社会における複雑系は分子，ニューロン，エージェントなど，情報を伝達，変換，蓄積する能力を持つ多数の要素のネットワークとして構成されており，分散型情報システムとみなすことができる。複雑系の大きな特徴は，このような構成要素の相互作用によって，構成単位の性質からは予期できないような秩序構造や機能を動的，自律的に生み出すことにある。

複雑系科学は，こうした秩序や機能の自己組織化過程を情報処理過程とみなすことにより，普遍的な視座を得ることを目指す。多岐にわたる自然及び人工のシステムを対象とし，理論，実験，計算の方法を総合して多様な対象の中に隠されている普遍的な情報処理原理を明らかにする。

本専攻では，複雑系を解析するための革新的な計算手法を開発する教育研究を行い，従来の要素還元論的方法ではない，モデル系を「つくることによって理解する」構成論的方法を発展させる。また，分散した要素の自己組織化に基づく情報システムをデザインする分散的方法を開拓し，構成論的思考，分散的思考による新しい発想が可能な優れた技術者，研究者を育成する。

5）社会システム情報学専攻

本専攻では，情報技術の展開により高度に情報化される社会環境において，実世界が有する物理的実体・現象と，仮想世界が有する論理的対象・処理の融合を研究の視点として，人間社会にとって優位な実世界と仮想世界を構成している連携的，相補的に融合可能な環境，機構，機能について教育研究を行う。また，人間の智恵を醸成，創造，育成し，かつ，人間の智恵や創造的行為によって支えられる活動空間の構築に関するパラダイム，モデルを確立し，情報技術の適用による知識依存型の社会システムの構築，及びそのアーキテクチャの探究だけでなく，情報技術の展開により，社会環境，社会機構に発生する様々な諸問題を評価，考察し，実世界と仮想世界の融合空間における人間の役割や人間社会の構成についても教育研究を行う。

本専攻は，情報化時代に即応できる人材育成の立場から，情報処理教育，情報技術の開発・適用，社会情報システムの機能設計・開発，社会情報環境のための情報ベース，利用者インタフェースの開発・構築等のニーズをより一層求め，社会へのシーズを育てることにより，情報化社会を積極的に支え，発展させる能力を有した人材育成を行う。

平 成 22 年 度

名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程（後期課程）

入 学 ・ 進 学 志 願 票（10月入学）

志望専攻名	専 攻		※受験番号	
フリガナ 氏 名			本 籍 地 （国・地域）	都・道 府・県
英字氏名	姓(SURNAME)	名（First name）	（Middle name）	
生年月日	（西暦で記入） 年 月 日生		性 別	男 ・ 女
出願資格	国立・公立・私立・外国 大学大学院 研究科 修士課程 博士課程（前期課程） 専攻 （西暦で記入） 年 月 日 修了・修了見込			
	出願資格（ ）により事前の入学資格審査等合格（該当者のみ）			
勤務先 （在職者のみ）	TEL ― ―			
現住所	□□□－□□□□ 携帯電話 ― ― TEL ― ―			
連絡先	□□□－□□□□ TEL ― ―			
Eメールアドレス	@			

注意 1．※欄は記入を要しない。
2．志願票，受験票，写真票及び履歴書の所定欄に漏れなく記入すること。
3．英字氏名について，姓はすべて大文字ブロック体，名およびミドルネームは最初の一文字のみ大文字で二文字目以降は小文字とすること。
4．勤務先欄は，有職者のみ記入し，所属部課等まで記入すること。
5．現住所及び連絡先欄は，○○○○マンション又は○○方まで正確に記入すること。
6．Eメールアドレス欄は，電子メールによる連絡が可能な場合に，アドレスを記入すること。

（切り離さないこと）

平成22年度
名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程 10月入学
〔後 期 課 程〕

受 験 票

志望専攻名	専攻
※受験番号	
フリガナ 氏 名	
生年月日	（西暦） 年 月 日生 男・女

1. 本票は，常に携帯し，入学の手続きが完了するまで保存すること。
2. 本票は，試験の際に机上に置いて監督者に見えるようにすること。
3. 本票は，監督者の請求があれば何時でも見せること。
4. 遅刻した者は，指定された試験室の監督者に申し出ること。

（切り離さないこと）

平成22年度
名古屋大学大学院情報科学研究科博士課程 10月入学
〔後 期 課 程〕

写 真 票

志望専攻名	専攻
※受験番号	
フリガナ 氏 名	
生年月日	（西暦） 年 月 日生 男・女

写真貼付欄

1. 写真は正面向き半身脱帽３ヶ月以内に撮影したものであること。
2. 全面のりづけすること。

横 縦
（４cm× ５cm）

出席確認欄	
口述	

※受験番号

履　歴　書

年	月	学　歴　・　職　歴

上記のとおり相違ありません。

年　　月　　日

氏　名

注意　1.　学歴は高等学校卒業から記入すること。
　　ただし，外国人出願者は初等教育から全て記入すること。
　　2.　空白期間がないよう全て記入すること。
　　3.　学歴・職歴問わず，名称等は省略せず正確に記入すること。
　　4.　休学期間がある場合は明記すること。

志　願　理　由　書

専　　攻　　名	志望教員／研究グループ	氏　　名	※受験番号
専攻			

○志願理由を記入すること。
（入学する目的，入学・進学後に特に学修したい分野及び専攻・講座を選んだ理由などについて記入すること。）

論　文　要　旨

志　望　専　攻　名	氏　　名	※受験番号

論文テーマ	

注意１．本用紙に記入するか(鉛筆不可)，本様式全てをワープロ等で作成すること。
　　２．※印欄は記入しないこと。
　　３．必要に応じて用紙を追加してよい。

領　収　証　書

（氏名） 殿	平成22年度	第　　号
	国立大学法人 名古屋大学	

納　付　金　額		千	百	十	万	千	百	十	円
				¥	3	0	0	0	0

ただし，検定料として上記の金額を

平成　　年　　月　　日　領収しました。

氏名は本人が記入すること。

（切り離さないこと）

領　収　証　書（控）

（氏名） 殿	平成22年度	第　　号
	国立大学法人 名古屋大学	

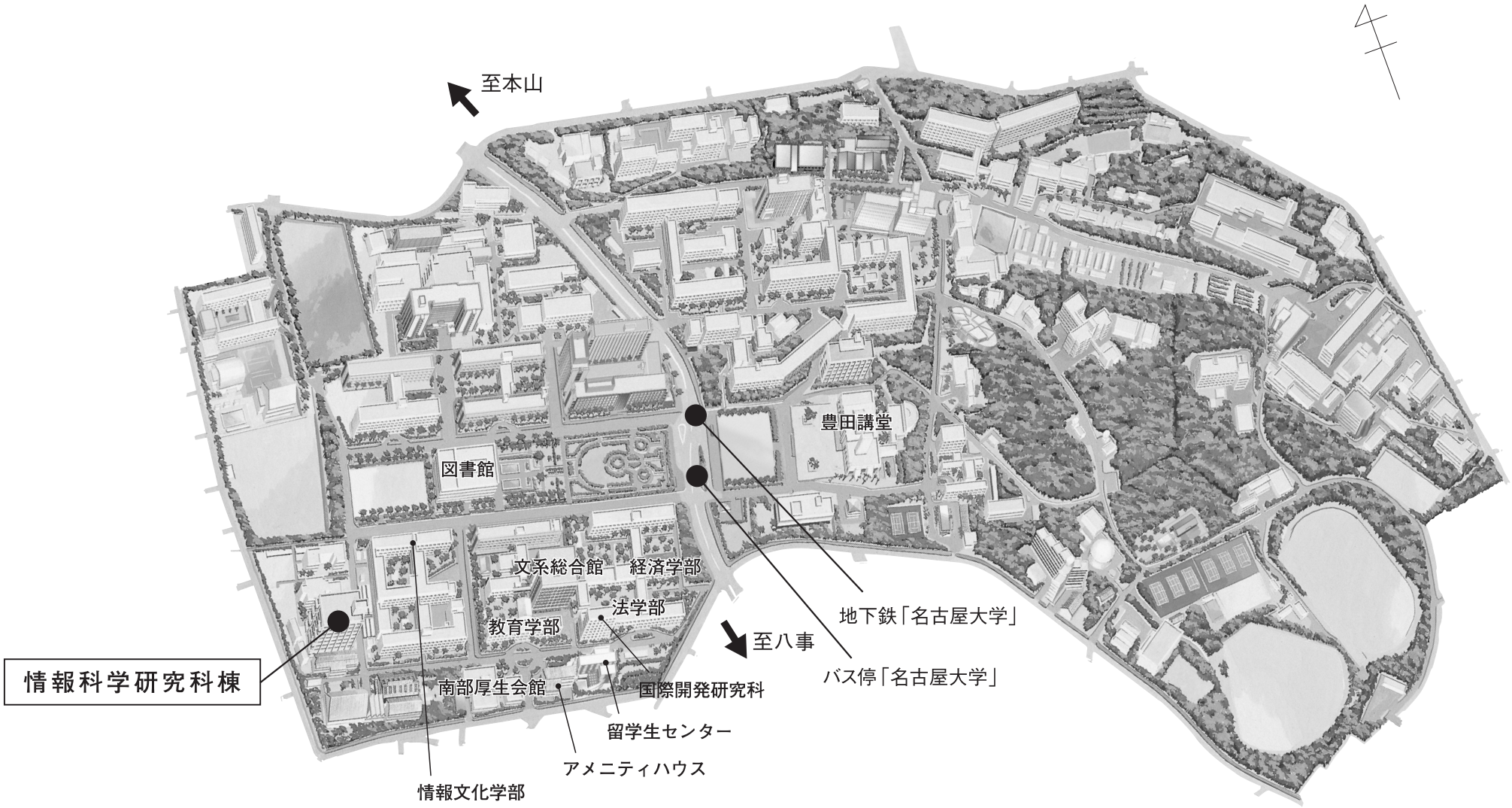
納　付　金　額		千	百	十	万	千	百	十	円
				¥	3	0	0	0	0

ただし，検定料として

平成　　年　　月　　日領収

氏名は本人が記入すること。

名古屋大学東山地区配置図



地下鉄名城線
「名古屋大学」駅下車
1番出口へ
　出口より　徒歩5分